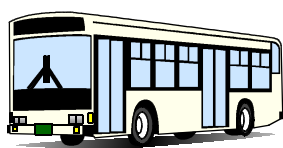


季刊わたぼうし

No.94
'13 冬



七尾市コミュニティバス
「ぐるっと7・西廻りコース」で巡る七尾の旅 2013!

今回の目次

※七尾市コミュニティバス「ぐるっと7・西廻りコース」

で巡る七尾の旅・2013 I

・プロローグ(前置き) 2

・「ぐるっと7・西廻りコース」

小丸山台1丁目 3

・小丸山南交差点(国道249号線) 3

・転倒する危険がある歩道

セレモニーホール七尾前 4

・福祉用具ショップ・オークス「あっぷる」 5

※第三回「ぐるっと7・西廻りコース」で巡る

七尾の旅・写真展の案内 6

※「2012 脳性麻痺者の二次障害(頸椎症)」

について語ろう会 I 7

※地域とのつながり 12

正月前に

食べ物

山盛りに

千寿子



この機関紙は障がいのある人、ない人が自由に考えを出し合い、主義・主張を越えて、お互いを理解し合う中から共に生きる豊かな社会を作っていくことを目的として発行しています。

七尾市コミュニティバス

「ぐるっと7・西廻りコース」で巡る七尾の旅 2013 I

○七尾市コミュニティバス「ぐるっと7・西廻りコース」を使い、七尾の名所散策・人との出会いを求めて。一昨年、昨年の2年間で「ぐるっと7・西廻りコース」は青山彩光苑～小丸山台1丁目を巡り、今年は小丸山台1丁目～恵寿総合病院前を巡ります。

プロローグ(前置き)

七尾市コミュニティバス「ぐるっと7・西廻りコース」は「2001年青山彩光苑障害者週間」の企画で「七尾市に車いすで乗車できるバス『まりん号』を彩光苑へ」を合い言葉に運動、署名活動を行い、夢を実現させたものです。

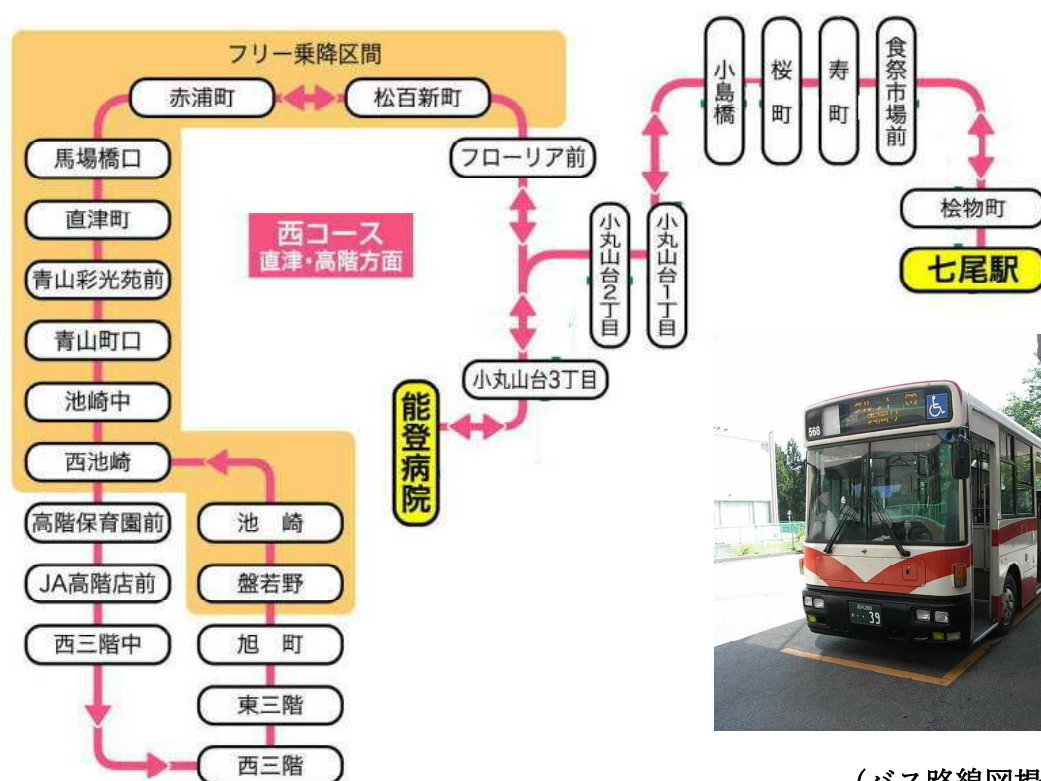
この署名活動は、車いす生活者だけではなく、高階・直津・赤浦地区の住民や、小丸山小学校に通学する児童の足の確保のためにも皆が力を合わせ行いました。青山彩光苑の利用者・職員・

地域住民・地元選出の市議会議員などが参加し、武元前七尾市長に車いすが乗車できるコミュニティバス運行の陳情をしました。

その運動の成果が実り、2002年11月より七尾駅から恵寿総合病院・公立能登総合病院・青山彩光苑を経由し高階地区を結び、車いす2台が乗車できるコミュニティバスの運行が開始しました。

今後、青山彩光苑～七尾駅の停留所を数年かけてデジカメで撮影し、観光やバリアフリー状況を取材して報告したいと思います。

「ぐるっと7・西廻りコース」路線図(青山彩光苑～七尾駅)



(バス路線図提供・七尾市)

①「ぐるっと7・西廻りコース」小丸山台1丁目



小丸山台1丁目バス停



このバス停は、車いすの乗降は不可能

この「小丸山台一丁目」バス停は車いすでは乗降が出来ません。小丸山台を散策するには、能登総合病院で乗降して下さい。しかし、一般の方は小丸山台一丁目で降りると、石川県七尾美術館へ行くのに便利です。

昨年度は小丸山南交差点の横断歩道と歩道の危険箇所を取り上げました。今年度は七尾美術館前～小丸山南交差点の歩道を紹介します。



七尾美術館前～小丸山南交差点の歩道

国道249号線(七尾・田鶴浜バイパス)の歩道は、赤いインターロッキングが敷き詰められています。県七尾美術館～小丸山南交差点方向は下り坂で横方向の傾斜があります。自走式車いすは腕の力がないと下りはスピードが出て事故につながり、上りは腕の力、体力が必要です。電動車いすは気軽に上れます。

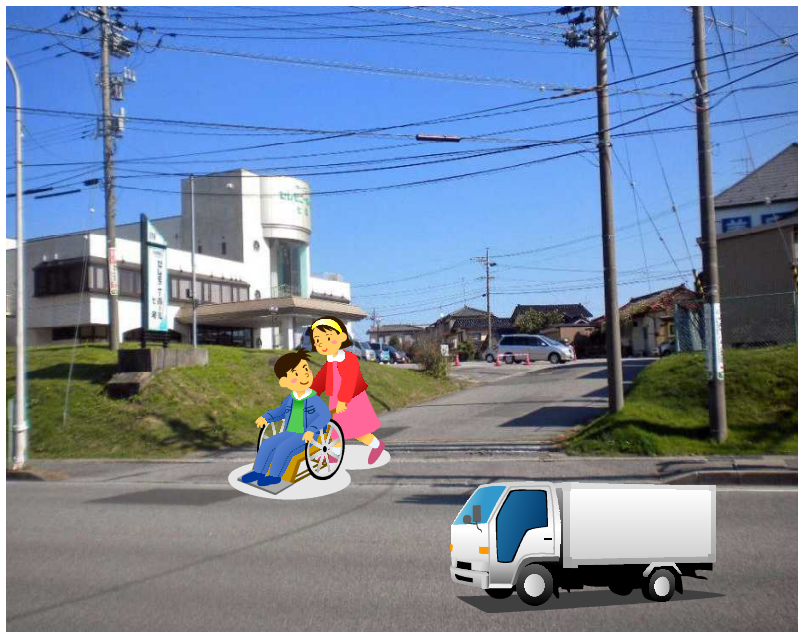
小丸山南交差点(国道249号線)



危険な横断歩道(セレモニーホール七尾前)

(注)この横断歩道は歩道に上る坂があります。介助式車いす、自走式車いす、片麻痺の人は上りが難しいと思います。歩道と車道の段差は車いすの操作を誤れば転倒し、事故になる危険性があります。

転倒する危険がある歩道・セレモニーホール七尾前



歩道が斜めになっており転倒の危険性があります。

「セレモニーホール七尾」
前の歩道は斜めになっており、電動車いすで操作を誤ると、横転して大事故になる危険性があります。一度渡り、電動車いすが傾き怖い思いをしました。安全対策を強く望みます。



←至羽咋 至 J R 七尾駅→(小丸山大通)



この2枚は七尾市小島町の「旧大谷済美幼稚園」下の横断歩道です。左は七尾駅方面、右は田鶴浜方面から撮影しました。どちらも歩道への上り勾配が急なので、自走式車いすの場合、後ろへ倒れ、頭を強く打つ危険性があります。

J R 七尾駅周辺は歩道と道路は整備されていますが、中心街を離れるとバリアフリーの整備は遅れています。



福祉用具ショップ・オークス「あっぷる」



オークス「あっぷる」正面玄関



オークス「あっぷる」店内

小丸山南交差点～小丸山公園へ向かう歩道



←至田鶴浜

至 J R 七尾駅→



↑至羽咋

至 J R 七尾駅↓

横方向に傾斜があるので自走式車いすの移動はきついです。



↑至小丸山公園

至羽咋↓

洋食・軽食・喫茶「トップ1」



洋食・軽食・喫茶「トップ1」(背面)

車いすは段差がありますが、親切な店員さんでした。美味しいコーヒーですよ。

～次号へ続く～

第三回「ぐるっと7・西廻りコース」で巡る七尾の旅・写真展

取材地域：小丸山台1丁目～恵寿総合病院前

展示場所：「ミナ・クル」2階 (JR七尾駅前)

七尾市健康福祉課 入り口

〒926-0046 七尾市神明町1番地

展示期間：2013年1月7日(月)～2月8日(金)

誰もが利用しやすい公共交通機関を目指して取材活動。

「ぐるっと7・西廻りコース」の展示会も今年で3年目。

障がいのある方、高齢者等、誰もが住みやすい七尾市の街作り。



展示に関する問い合わせ先

〒926-0831 七尾市青山町ろ部22番

青山彩光苑内

利用者：竹松 富雄

桶屋 善一まで

TEL：0767-57-3309(呼出)

メール：zen@san9.net



「2012 脳性麻痺者の二次障害(頸椎症)」について語ろう会 I

語ろう会企画の経緯

昨年の秋に頸椎症の手術をされた方より、手術後の痛みについて相談を受け、手術は痛みの解決だけではなく、手術後のリハビリ、頸椎症との付き合いの方が大切さも感じ企画する。

目 的

手術後も痛みがあることを理解し、いかに痛みと上手に付き合っていく方法を互いの体験から得ることが出来る場とする。

内 容

過去数年間に脳性麻痺の頸椎症の手術をされた方数人に 集まって頂き、手術後の抱えている疑問、悩みを語り合う。

日 時：2012年10月17日(水)

14時～15時30分

場 所：青山彩光苑西館 多目的ホール

二次障害の座談会協力者

自立生活支援センター富山

理 事 長 平井 誠一氏

事務局長 浅木 裕美氏



語ろう会スタート

桶屋：それでは始めます。皆さん、こんにちは。よろしくお願いします。代読をお願いします。

M氏：代読させていただきます。今日は「脳性麻痺者の二次障害(頸椎症)」について語ろう会」に参加していただき、ありがとうございます。

昨年の5月にもこの会場で活発な意見交換を行いました。その時も参加されたF氏の病状、痛みが進行し、昨年10月に医科大で頸椎を手術されたということです。手術をして退院されても痛みがあると私に相談があり、お互いに言語障害があるので週に1回から2回パソコンを使って手術後の痛みについて意見交換をしたり、平井氏にメールをしてアドバイスを受けていました。しかしメールでやりとりをするよりも、直接こうやってお話をした方がいいだろうと、夏くらいから計画をしまして、同じ悩みを持つ数人の人にも声をかけ、今回こういった会を開くことになりました。こう言っている私自身も、4月位から尿が出にくくなり、今はバルーンカテーテルを入れている状況になっています。これも頸椎症の進行から来ているのだろうと思われるのですが、今は頸の痛みは出ていませんが、いずれ痛みが出てくるかもしれませんので、自分のこととして考えていければいいと思います。

F氏との語ろう会までの経緯

今回の語ろう会のきっかけとなったのは、Fさんが2011年秋に医科大で、脳性麻痺の頸椎症の手術をされ、2012年夏に青山彩光苑へ戻り私に相談に来られました。そのときの経緯から説明させていただきます。

F氏：自分は何も分からず手術を受けたので、頭がパニックになった。

桶屋：手術前にどんな手術か、説明を受けた？

F氏：説明を受けてだいたいわかったけれど、どこの病院の先生が手術が上手かわからなかった。インターネットで調べたり、友人で金沢大学病院で手術して退院した人に聞いたけれど、詳しいことは分からなかった。自分の現在、一番知りたいことは、痛みがどれくらいで治るのか。

桶屋さんは何故、頸の手術を受けないのか？

桶屋：頸の痛みがないから。しかし、これからわからない。痛みがひどくなったら手術をすと思う。

症状は進んでいるのは確実、手足のしびれ、昨年の4月からおしっこが出なくなり、バルンカテーテルを入れています。

F氏：今のうちに進行を止めた方が良い。体が動かなくなってから手術を受けても、回復が遅れると思う。。

自分の一番聞きたいことは以前にも言いましたが、頸の痛みがどれくらいで治まっていくか。手術の場所によって、痛みが違うのか。

手術後一週間でコルセットを外した。理由は傷口を圧迫して治りが悪いから外した。一ヶ月、

傷口が治らなかった。

手術後二日目から強制寝返りが始まり、その頃から痛みがだんだん強くなってきた。自分は痛みを止めると聞いていたので、そのための手術だと思っていました。

その後、先生にお聞きしたら「痛みを取るための手術ではなくて、体が動かなくなるのを防ぐための手術」と言われました。

平井誠一さんからメールで回答

Fさんからの質問ですが、頸椎の手術ですが、よく聞く話しはヘルニアです。ヘルニアは脳性麻痺と違ってそんなに大がかりな手術はないので、痛みは取れるみたいです。

大変なのは、木から落ちたり、高いところから落ちて頸の骨を痛めて全身麻痺になったり、交通事故にあつて頸の骨を痛め、神経が切れて全身麻痺になる人たちは、痛みも感じられなくなり、手足に傷があってもわからないとか、お尻に褥瘡ができていてもわからず、熱が出て初めてわかるようです。

脳性麻痺でも二次障害で手術を受けなかった人たちも、神経が麻痺してお尻に褥瘡ができていてもわからず、熱が出て初めてわかる人も多くいます。痛みは、肩や頸、肩胛骨、腕などのリハビリによって軽減します。

また塗り薬も効きます。薬の名は、スミル・スチックといいます。一度、試してください。

F氏との語ろう会

F氏：自分は最初、足と腰が冷たいので、原因を調べて欲しくて、金沢の人にどこか良い病院がないかと聞いたら「金沢脳外科病院へ行ったら」と教えてくれました。

金沢脳外科に行って「調べてくれ」と言ったら、頸を痛めたのかと言われて、頸のことを言



ったらMRI撮って「ここでは対処できないから」と言われ、医科大を紹介されました。医科大に行って検査を受けることにしました。どの病院が良いとか、何という先生が上手やとわからないもので、一応医科大で検査だけでも受けてみようと思って、受けたら頸がえらいことになっていると。1番目と2番目の骨が神経を圧迫して、手術をしないと1、2年で身体が動かなくなってくるかもわからないと言われました。いろいろ検査を受けて、手術するまでにどこかに良い病院がないかといういろいろ調べたり、友だちにも聞きたいし、先生から「手術どうする？」と何回も聞かれたけど、その時はまだ返事しなかった。先生に「1回退院して考えてみたらどうや」と言われた。まだ心配だったもので、ギリギリまで返事しなかった。その間にあっちこっち調べてもらっていたけど、結局わかったことは金大と医科大とどっちが多く頸の手術をしたかというといと医科大の方が手術は多くやっていたことがわかった。

平井氏：今は手術は受けられてないということですか。手術は受けられたのですか。

平井氏：それで手術を受けられた。

F氏：医科大で受けることにしました。

平井氏：もう1年、経たれる。

F氏の車の運転

平井氏：去年来た時、運転していると言っておられましたね。

F氏：昨年の10月に手術をしました。もうすぐ1年。明日で1年。まだ痛みは治っていない。入院の4日前まで車を運転していました。

浅木氏：入院の4日前まで。

平井氏：今は車は運転していないのですか。

F氏：今ですか。

平井氏：はい。

F氏：今は運転してないです。

平井氏：練習しているのですか。車は今はまったく乗っていないのですか。

F氏：今、練習中。

平井氏：練習中？ また車を運転しようと思って練習しておられるのですか。そうなんだ。

F氏：今の状態は手術する5ヶ月前に戻ったような状態です。

浅木氏：手術する5ヶ月前の状態ですか。



F氏：9月に入院したから。

浅木氏：入院したのは9月13日。

F氏：免許書き換えに行ってきたのが5月。

浅木氏：手術する年の5月に書き換えに行ってきた、入院されたのが9月13日、手術したのが10月。1年前だから10月18日に手術したのですか。

F氏：女房と一緒に自分で運転して警察に行ってきた。「運転は大丈夫か？」と聞かれました。今のところ運転して大丈夫だと。警察の人が免許センターに電話して、いろいろ聞いて来ました。大丈夫だということになって更新して来て。9月に入院して。手術が早ければ早いほど元に戻る確率が高いと言われました。

平井氏：早ければ早いほど。

F氏：友だちに頼んでどういう病気を調べてもらったら、脳性麻痺の人と高齢者に多い病気だとわかりました。

浅木氏：年齢を重ねて頸を酷使した人とか、脳性マヒみたいに緊張が強くてということですね。

平井氏：まだお若いのにね。だいぶ若そうですね。僕は結構もういい年だけど。

F氏：治療方法が2つあって手術と温存と。早く手術を受けた方が回復が早いと感じた。

浅木氏：はあ。早いと言った時に、どの段階で決断するかですね。しなくてもいいと思うじゃないですか。

F氏：だからこそ。あと言いたかったことは、痛みとどうやって付き合えば良いか。

浅木氏：ああ難しいですね。平井さん、難しいですね。

F氏：自分で痛みを言いたかったもので。

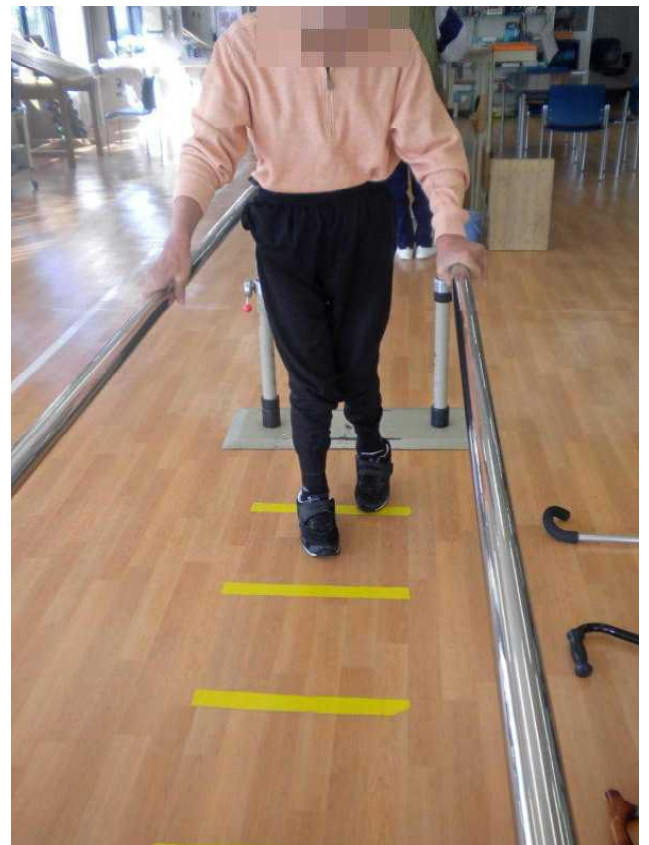
平井氏：その話も含めて後でみんなで話が出来たらいいと思います。

F氏より補足

手術までに友だちとか、子供にいろいろと調べてもらったけど、詳しいことは解らなかった。

4月7日に退院しましたが、今も頸の痛みは強いですが、痛み慣れてきたようです。

F氏：頸の手術一年経過後の様子



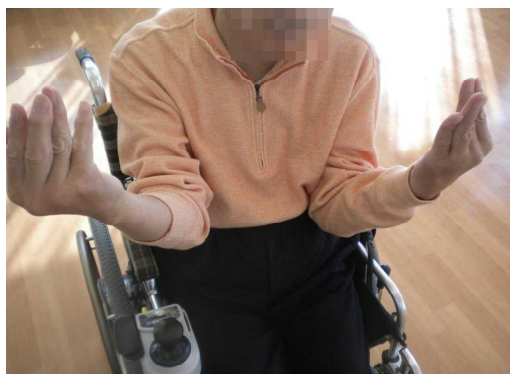
平行棒歩行練習(前方方向)



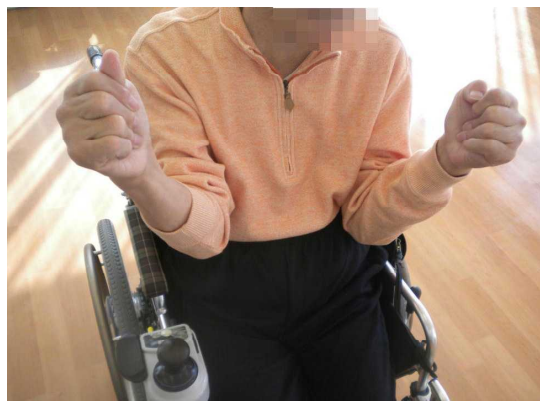
平行棒歩行練習(後方方向)



平行棒歩行練習(横方向)



手の状態(手のひら、指が伸びない)



手の状態(握りこぶし)

手の装具はリハビリの先生に相談して作ってもらいました。

右の装具は日中のリハビリのときに、手首を伸ばすために、左は指を伸ばすために夜間つけていました。何もしなかったら、今も手首が伸びていなかったかも知れない。

頸の痛みの原因もいろいろと聞いてくるうちに、いろんなことが解ってきました。



手首を伸ばすための装具

F氏より：

手術方法を二通り説明を受けました。①部分固定と②頸全体固定でした。「先生から貴方にとって部分固定の手術方法が一番良いと思う。難しい手術なので開けてみないとわからない。」と言われました。全体固定の手術だったら何も出来なかったと思います。医科大で手術したことが良かったと思っています。

～次号へ続く～

ぐるっと7・西廻りコース」で巡る七尾の旅 能登食祭市場で展示会

昨年11月3～4日に国際医療福祉専門学校七尾校の文化祭で展示された「ぐるっと7で巡る七尾の旅」をご覧になった方からのお誘いを受け、11月13～14日能登食祭市場で開かれた「2012 “あなたの宝写真展”」で展示させていただきました。

写真愛好家が、七尾を撮影された写真展でした。30数年前の懐かしい市内も展示されているなかに、ぐるっと7も仲間入りしました。



年間協力会員募集中

この機関紙は障がいのある人、ない人がそれぞれの考えを出し合う中から、互いに理解を深め、共に生きる豊かな社会づくりを目的として、有志により発行しています。

つきましては、主旨に賛同して協力会員になっていただく方々を募集しています。

この会費で、在宅障がい者や福祉関係機関等に送付していますので、機関紙一部の料金ではなく、年間協力会費として扱っています。

年間協力会費：2,000円

会費振込先：郵便振替口座

振込先名義：わたぼうし連絡会

00750-6-9791

送 付：春、夏、秋、冬

編集後記

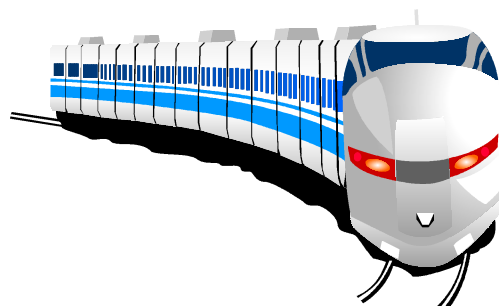
読者の皆さん、こんにちは。

新年を迎え、いかがお過ごしでしょうか。

昨年末に行われた衆議院選挙は、自民党の圧勝で終わりました。景気回復、原発問題、消費税などを焦点にテレビ各局のワイドショーで、朝から各党の党首が出演して連日議論がなされていました。

今回は多くの少数政党ができ、活発な議論を述べていましたが、残念なことに福祉関係、障害者福祉について語る政党、党首があまりいませんでした。

さて、今年は「HSK季刊わたぼうし」が発刊28年目の新春を迎えました。あと2年後に近づいた当紙の発刊30周年と北陸新幹線の開業が同じ年ですが、これも何かのご縁でしょうか。この記念すべき30周年を健康で迎えることが出来るようお願いしたいと思います。(Z.O)



編集及び連絡先

ホームページ

HSK季刊わたぼうし

検索

<http://jiritsusien.com/>

Eメール：zen@san9.net

定価二〇〇円